

On Demand Seminar

勝つための方程式

ポンド円の短期売買の極意

2009年7月6日

講師 小林芳彦

日計りの極意

- 米ドルの動向は大きなトレンドで見てどちら向きか？
- 日計りに向く通貨ペアは何がよいか？
- 取引時間帯は いつがよいか？
- 利食いと損切りを どのように考えればよいか？

➤ 米ドルの動向は大きなトレンドで見てどちら向きか？

やみくもに売ったり買ったりしても 収益を得られるチャンスは少ない。
トレンドがまずどちらに向いているのかを大まかに把握する必要がある。

まず ドルインデックスを見て 米ドルが 他通貨、特にユーロドルに対して
どのような動きとなっているか 確認する。

次にドル円の動きを日足で確認。

クロス円をやる場合にはもっとも大事なのが、ドル円の動向だから。
ドル円のチャートの形とクロス円のチャートの波形が似ていることが多い
ため、ドル円の動向を無視して ポンド円、ユーロ円をやっても勝てない。

次に他通貨ドルの動向。

対ユーロが見て、今度は対ポンドを見る。

もしユーロポンドの動きが出ていれば この時点で ポンド円とユーロ円が
平行(同時に同じ方向)に動くか または逆に動くかが予想できる。

➤ 日計りに向く通貨ペアは何がよいか？

流動性が高く、かつスプレッドは狭いほうがよい。

情報が入りやすいという点では ドル、ポンド、ユーロが適していると考える。

ある程度の動きがないと 日計りできないので、動きが大きいもの、ポンドやユーロのほうが ドル円に比べて やりやすい面がある。動きがあまりに鈍いと収益チャンスが少ない。

➤ 取引時間帯は いつがよいか？

日計りを行う場合 市場が薄いシドニー時間や仲値発表で需給がぶれる午前10時ごろよりは 夕方4時ぐらいからNYの経済指標発表前(夏時間は午後9時15分ぐらいまで)が市場流動性が高く また市場ポジションをある程度予想できるので 勝てるチャンスが多くなる。イベントリスクを減らす意味で 米経済指標前には 一旦ポジションをスクエアに(ノーポジション)にしておくことが望ましい。

➤ 利食いと損切りを どのように考えればよいか？

日計り、スキャルピングを行う場合、一回のディーラーで致命傷となるような大きなやられは絶対避けるべき。

自分は何勝何敗のディーラーが出来るのかを考える。もともと8勝2敗のディーラーは存在しない。7勝3敗でも優秀なディーラー。6勝4敗でも立派です。6勝4敗で収益を考えた場合、勝ちで35銭抜いたら 合計で2円10銭。4敗で2円10銭となるのは52.5銭です。大まかに言えば、勝ちが35銭なら 負けは55銭で抑えないとトータルで 利益は出ない勘定。

経験と過去データから自分は何勝何敗のディーラーが出来るのかを冷静に見つめディーラーの前から どこで参入し、どこで利食い、どこで損切りをするのかのイメージを持って 参入すべき。なんとなく、ポジションをとってもなかなか、勝てない。

益出しよりも、損切りをどこで行うかをしっかりと考えるべき。

ドルインデックス Weekly

6

ドルインデックス (FINEX) FINEX New York Board of Tradeの金融部門Financial Instrument Exchange の略

ユーロ57.6%、円13.6%、ポンド11.9%、カナダドル9.1%、スウェーデンクローナ4.2%、スイスフラン3.6%の構成比で加重平均したもの。

U.S. DOLLAR INDEX CASH .. weekly OHLC plot



ドルインデックス Daily

U.S. DOLLAR INDEX CASH ... daily OHLC plot



2009/07/03 始値:95.89 高値:96.11 安値:95.69 終値:95.95

単純移動平均: 短期[9]95.87 中期[21]96.68 長期[90]97.42

一目均衡表: 基準値[26]96.66 転換[9]95.92 先行1[26]96.16 先行2[52]97.49 遅行[26]——



始値:95.89 高値:96.11 安値:95.69 終値:95.94

240

ドル円 日足 チャート

9



ポンドドル 日足 チャート

10



ポンド円 日足 チャート

11



ドル円5分足 7月3日

12



単純移動平均線を使ってみる。72本(6時間)108本(9時間)144本(12時間)で設定。



ポンド円5分足 7月3日

14

単純移動平均線を使ってみる。72本(6時間)108本(9時間)144本(12時間)で設定。



＜リスク開示＞

このセミナーは、情報提供を目的としており、FX取引の勧誘を目的としたものではありません。また、実際の市場動向とは異なる可能性があり、断定的判断を提供するものでもありません。当該セミナーの内容を予告なく変更する場合があります。

当該セミナーの内容および資料のご利用によりお客様に損失が生じた場合であっても、当社および当該セミナーの講師(所属会社を含む。)は一切の責任を負いません。お取引につきましては、お客様ご自身の判断と責任において行っていただきますようお願い申し上げます。

なお、セミナーに関する著作権は、当社および作成者に属します。お客様の私的使用目的以外での使用、他人への譲渡や販売または再配信等を行うことはできません。

＜注意喚起＞

店頭外国為替証拠金取引は、レバレッジ効果(想定元本と比較して少額の資金で大きな取引ができる仕組み)により、大きな利益を得る場合がありますが、元本(預託金)を上回る損失発生の可能性があり、元本や利益を保証するものではありません。

特に、マイナー通貨(流動性の低い通貨)の取引をされる場合、元本以上の損失発生の可能性が高くなります。また、スワップポイント(通貨間の金利差調整額)についても通貨ペアやポジションの状態(売りまたは買い)によっては、プラスの場合もあれば、マイナスの場合もあります。

当社では、インターネットを通じて店頭外国為替証拠金取引サービスをご提供しておりますので、お客様のパソコン・インターネット環境や当社のシステムに不具合が生じた場合等、取引ができなくなる可能性があります。また、お客様の取引の相手方は当社(相対取引)となっており、取引所取引とは異なりますので、契約締結前交付書面をよくお読みいただき、内容をご理解の上、ご自身の判断によりお取引ください。

商号：JFX株式会社

業務内容：第一種金融商品取引業

登録番号：関東財務局長(金商)第238号

加入協会：金融先物取引業協会 会員番号1503